

報告

日本天文学会 2005 年春季年会・ジュニアセッション報告

篠原秀雄（埼玉県立蕨高等学校）

2005 年 3 月 28 日（月）～30 日（水）の日程で、明星大学日野キャンパス（東京都日野市）において天文学会ジュニアセッションが開催された。口頭発表は全部で 30 件（そのうち 20 件はポスター発表も）あり、28 日の午前 10 時から昼食をはさんで 17 時まで、7 つのセッションに分けて行われた。会場は同大学のシェークスピアホール（図 1）で、日本通信機株式会社、日本大学総合学術情報センター、ライブ！ユニバース、パナソニックデジタルネットワークサーブ株式会社のご協力により、インターネットで中継された。また、ポスター発表については、天文学会の年会会期中を通して行われた。



図 1 会場の様子（明星大学日野キャンパス・シェークスピアホール）

ポスターのみの発表 5 件を含めると合計 35 件の発表となったが、これは口頭発表の件

数とともに過去最多であった。口頭発表のセッション（図 2）への参加者は全部でおよそ 310 名（そのうち 201 名がジュニアセッションのみの参加）で、これも過去最多である。

発表の内容は多岐にわたり、全体に高度なものが多かった。当日のすべての発表タイトル等については、ジュニアセッションの web（<http://bootes.rc.kyushu-u.ac.jp/jrsession/>）をご覧いただきたい。

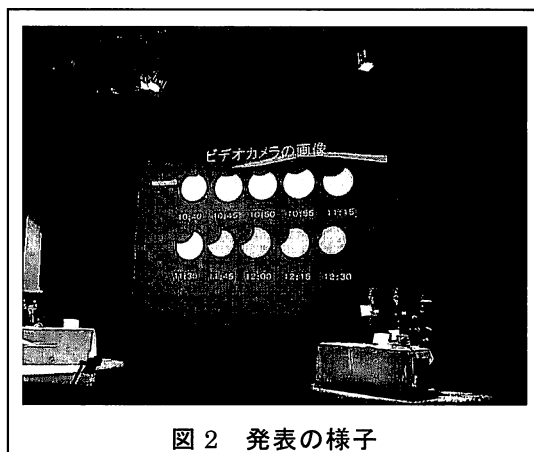


図 2 発表の様子

また、今年が世界物理年であることから、ジュニアセッションでも特別企画として、アインシュタインや相対性理論についてのセッションを設け、関連するテーマでの高校生による研究成果が発表された。また、大阪教育大学の福江純氏に、「相対論が果たした役割—僕たちは相対論的世界に住んでいる」というタイトルで高校生向けの特別講演を行っていただいた。

なお、このジュニアセッションは、天文教育普及研究会および高校生天体観測ネットワークとの共催、そして日本惑星協会の後援により行われている。